

2026 年 10 月 8 日

エミネンスプログラム及び高校 PS クラスのカリキュラム変更について

従来、エミネンスプログラムおよび高校 PS クラスにおいては、一週間の中に授業・講座・予備門を多く配置し、学習時間を可能な限り確保することで、生徒たちの学力を向上させ、難関大学受験を突破するための取り組みをしてまいりました。

具体的には、平日の 7 時間授業実施後に、大学受験準備・対策を目的とした必修の「放課後講座」を設置し、さらに、その後の時間帯に医学部をはじめとした難関大学対策を目的とした「大谷予備門」を開講し、土曜日にも午前 4 時間の授業を行い、その後、午後から夕方にかけて「大谷予備門」を開講してきました。

しかし、このような 7 時間授業・土曜授業の展開では、各自で復習をしたり取りこぼした部分を取り戻したりするための時間的余裕がなかなか取れないという弊害も出てきておりました。加えて、高校においては必修の「放課後講座」、その後の「大谷予備門」という縦積みの組み立てを行っていたため、前述の弊害に加え、生徒によっては本人のレベルや学習の進捗状況に合わないものにも参加しなければならないという非効率的な状況も出てきておりました。

このような状況を改善するため、より効率的かつ効果的な学習カリキュラムの抜本的な組み立て直しをすることとしました。

そこで、以上のような経緯・観点から学内にて「授業・講座・予備門」のカリキュラム全体について総合的に検討を重ねた結果、以下のように変更し、次年度より全学的に実施いたします。

①土曜授業について： 中学・高校共に土曜授業は実施しません。

（授業の時間数は減りますが、授業及び講座・予備門、中学においては OST 及び講座との連携を強化し、学習効果を高めます）

②講座・予備門について：

高校においては、平日にこれまで縦積みの展開をしていた「放課後講座」「大谷予備門」を横並びの同時展開とし、生徒各自が自分のレベルや進捗状況に合わせて選択受講することとします。土曜午後から夕方にかけて開講していた「大谷予備門」を土曜午前に移動します。

中学においては、平日の講座・予備門・OSTは従来通り全員受講となります。土曜日は休日となるため、生徒各自が自分自身で時間を使えることとします。

上記のようにカリキュラムの組み立てを総合的に変更することにより、生徒が自分自身で活用できる時間的ゆとりが生み出せます。それにより、生徒たちは各自のレベルや進捗状況に合わせた学習を行うことができ、今まで以上に効率的かつ効果的な学習環境を提供できると考えております。

この変更は、現在在学中の生徒たちにとって今まで以上の学習効果を生むと考えておりますので、年度途中の急な変更発表となりますが、何卒ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

これからも生徒にとってのよりよい学習環境作りや学力養成のための取り組みを積極的に行っていく所存でございます。

札幌大谷学園 理事長

札幌大谷中学校・高等学校 校長

種 市 政 己